

(全国の状況)

★投票率

- ・戦後3番目に低い数字 全国 53.85% (前回 2021年 55.93% ▼2.08%)
- ・都道府県別 最も高い 山形県 60.82% (▼3.52%)
前回 2021年を上回った 秋田県・静岡県・三重県・山口県の4県のみ
福岡県 51.59%・39位 (前回 2021年 52.12% ▼0.53%)
- ・政党中央での「野党共闘」が成立せず、地域事情による部分的な共闘となる。
宮城県・東京都・長野県・福岡県など、都道府県・選挙区毎に対応。「東高西低」
例) 東京 24区 (立憲・有田芳生：比例復活 71683票 vs 萩生田光一：当選 79216票)
愛知 10区
(立憲・藤原規真「共闘しすぎ」 59691票 vs 自民 59529票、維新 52957票)
滋賀 2区 (立憲：市民が選考 65324票 vs 自民 99347票、維新・前原 GR62646票)
- ・小選挙区で、自公議席減少・野党第一候補へ投票といった「戦略的投票」をする人が多かった。
- ・比例区で、自公支持者のなかで棄権する人が増えたのか？ 極右は保守党・参政党へ、中道は国民へ、リベラル左派はれいわに期待し投票する人が増えたのか？

★投票先政党についての特徴

- ・年齢別・比例区の投票先 (出口調査より) 若年層は国民へ多く投票した。
18・19歳 (19%)、20歳代 (26%)、30歳代 (22%)、40歳代 (15%)・・・
- ・全党 SNS を駆使。なかでも国民・れいわ・参政などが SNS で議席・票を伸ばす。
政党 CM・YouTube での再生回数 国民 1392万回、自民 2175万回、立憲 570万回
政治・社会の情報源が YouTubes と回答 保守 68%、国民 40%、自民 12%、立憲 11%

★議席の増減

(与党)

- ・自民 191 議席 選挙前 247 議席 (▼56 議席) ・2021 衆院選 261 議席 (▼70 議席)
 - ・公明 24 議席 選挙前 32 議席 (▼8 議席) ・2021 衆院選 32 議席 (▼8 議席)
- 「さらば 裏金自民党」が功を奏する
- ⇒自公の過半数割れ 自民 (191 議席) + 公明 (24 議席) = 215 議席 (過半数は 233 議席)
 - ⇒「少数与党」となり「党高政低」「政治の流動化」へ
首班指名・決選投票で他党の協力が必要。
1994 年以来 30 年ぶりの決選投票 (11/11) 石破 221 票、野田 160 票、無効 84 票
第 2 次安倍政権以来、閣議決定・国会での熟議なし・強行採決で重要法案を成立させてきたが、国会での熟議が必要
予算案・条約批准において「衆議院の優越」が機能しない。
衆議院の常任委員会の委員長ポストの配分が変化 (自公：野党 = 15 : 2 ⇒ 10 : 7)
「103 万円の壁」など低所得者向けの対策が議題の俎上へ。
「アベ政治」「アベノミクス」への評価？

(野党・「ゆ党」)

- ・立憲 148 議席 選挙前 98 議席 (△50 議席) ・2021 衆院選 96 議席 (△52 議席)
- ・維新 38 議席 選挙前 44 議席 (▼6 議席) ・2021 衆院選 41 議席 (▼3 議席)
- ・国民 28 議席 選挙前 7 議席 (△21 議席) ・2021 衆院選 11 議席 (△17 議席)
- ・れいわ 9 議席 選挙前 3 議席 (△6 議席) ・2021 年衆院選 3 議席 (△6 議席)
- ・共産 8 議席 選挙前 10 議席 (▼2 議席) ・2021 年衆院選 10 議席 (▼2 議席)
- ・社民 1 議席 (増減なし)

○左派・リベラル市民運動は「改憲阻止」に力点をおく

⇒護憲派 (立憲・れいわ・共産・社民) 166 議席 発議に必要な 1/3・155 議席を超える。

○「ゆ党」の国民が、キャスティング・ボート (casting vote) を握る政党となる。

○野党第一党の立憲は、野党をまとめきれていない。

(新たな政党)

- ・保守党 3 議席 (△3 議席)
- ・参政党 3 議席 (△3 議席)

(その他)

- ・無所属 12 議席 選挙前 22 議席 (△10 議席) ・2021 年衆院選 10 議席 (▼2 議席)

★議席・票数増減についての各党の特徴

(自民) 有権者の「裏金・金権政治」への不信・不満が強かった。

- ・小選挙区 議席減少 132 議席 (266 人擁立、289 議席中 45.7%)
前回 2021 年は 189 議席 (▼57 議席)
- ・比例区 票数減少 1458 万票 (絶対得票率 14.01%、得票率 26.73%)
前回 2021 年は 1991 万票 (得票率 34.66%) (▼523 万票)
議席減少 59 議席 (176 議席中 33.5%) 前回 2021 年は 72 議席 (▼13 議席)
- ・現職閣僚が落選 (牧原秀樹法相・小里泰弘農林水産相)
- ・裏金議員 (公認あり・比例重複なし)
46 人中 (うち 2 人はすでに離党) 6 割・28 人が落選
福岡 11 区の武田良太、大分 2 区の衛藤征士郎、東京 7 区の丸川珠代らが落選
- ・裏金議員 (公認なし) 10 人中 7 人落選
福井 2 区の高木毅、東京 11 区の下村博文などは落選
東京 24 区の萩生田光一、兵庫 9 区の西村康稔、東京 17 区の平沢勝栄の 3 人が当選
- ・派閥構成が変化 (安倍派が 3 分の 1 へ減少など)
安倍派 59 人⇒20 人、麻生派 40 人⇒31 人、旧岸田派 34 人⇒26 人、旧茂木派 32 人⇒27 人
旧二階派 31 人⇒21 人、旧森山派 7 人⇒7 人

(公明) 与党であるため、自民批判に巻き込まれる。一部裏金議員を推薦。

- ・小選挙区 議席減少 11 人擁立、当選は 4 議席 (東京 1・広島 1・兵庫 2)
前回 2021 年は 9 議席 (▼5 議席)
- ・比例区 票数減少 596 万票 (得票率 10.93%)
前回 2021 年は 711 万票 (得票率 12.38%) (▼115 万票)

議席減少 20 議席 前回 2021 年は 23 議席 (▼3 議席)

- ・埼玉 14 区の石井啓一党首が落選、大阪府内の 4 選挙区では維新と対決し全敗

(立憲) 自民党の「OWNゴール」で議席を増やした。

- ・小選挙区 議席増加 104 議席 (207 人擁立、289 議席中 36.0%) 前回 2021 年は 57 議席
得票数 1574 万票 (得票率 29.01%) 前回 2021 年は 1721 万票 (得票率 29.9%)
※議席数は△47 議席、得票数は▼147 万票
- ・比例区 1156 万票 (得票率 21.20%) 前回 2021 年は 1149 万票 (得票率 20.00%)
44 議席 前回 2021 年は 39 議席
※議席数は△5 議席、得票数は△7 万票

(維新) 前回 2021 年の「維新人気」は一過性だった (2023 統一地方選まで)。

- ・小選挙区 議席増加 23 議席 (163 人擁立) 前回 2021 年は 16 議席 (△7 議席)
大阪府内の 19 選挙区すべて独占 (自公が維新以上に票数を減らしたため?)
その他の 4 議席 (滋賀 1 区・京都 2 区は前原 GR、広島 4 区・福岡 11 区)
- ・比例区 510 万票 (得票率 9.36%) 前回 2021 年は 805 万票 (得票率 14.01%)
15 議席 前回 2021 年は 25 議席
※議席数は▼10 議席、得票数も▼295 万票
※絶対得票率 大阪府 2021 年 23.45%、2024 年 15.86% (▼7.59%)
兵庫県 2021 年 17.06%、2024 年 9.92% (▼7.14%)

(国民) 「手取りを増やせ」のスローガンが、若い有権者への訴えとなった。

- ・小選挙区 議席増加 11 議席 (41 人擁立) 前回 2021 年は 6 議席 (△5 議席)
- ・比例区 617 万票 (得票率 11.32%) 前回 2021 年は 259 万票 (得票率 4.51%)
17 議席 前回 2021 年は 5 議席
※議席数は△12 議席、得票数も△358 万票

(れいわ) SNS を駆使。共産党の比例票・議席数を上回った。

- ・小選挙区 0 議席 (19 人擁立) 前回 2021 年は 0 議席
- ・比例区 380 万票 (得票率 6.98%) 前回 2021 年は 221 万票 (得票率 3.86%)
9 議席 前回 2021 年は 3 議席
※議席数は△6 議席、得票数も△159 万票
※東北 1 人、北関東 1 人、東京 1 人、南関東 1 人、東海 2 人、近畿 2 人、九州 1 人

(共産) 「タムトモ」初の国政選挙。赤旗スクープを連発するが票に結び付いていない。

- ・小選挙区 1 議席 (213 人擁立・沖縄 1 区のみ当選) 前回 2021 年は 1 議席
※得票数 369 万票 (得票率 6.81%) 前回 2021 年は 264 万票 (得票率 4.59%)
- ・比例区 336 万票 (得票率 6.16%) 前回 2021 年は 416 万票 (得票率 7.25%)
7 議席 前回 2021 年は 9 議席
※議席数は▼2 議席 (定数 1 削減の東北、東京ブロック)、得票数も▼80 万票

(社民) 政党要件を満たさなかった。

- ・小選挙区 1 議席 (10 人擁立・沖縄 2 区のみ当選) 前回 2021 年は 1 議席
※得票数 28 万票 (得票率 0.52%) 前回 2021 年は 31 万票 (得票率 0.55%)
- ・比例区 93 万票 (得票率 1.71%) 前回 2021 年は 101 万票 (得票率 1.77%) ▼8 万票
0 議席

(参政)

- ・小選挙区 0 議席 (85 人擁立)
※得票数 135 万票 (得票率 2.50%)
- ・比例区 187 万票 (得票率 3.43%)
3 議席 (南関東・近畿・九州ブロック)

(保守)

- ・小選挙区 1 議席 (4 人擁立、愛知 1 区・河村たかしが当選)
- ・比例区 114 万票 (得票率 2.1%)
2 議席 (東海・近畿ブロック)

★女性当選者数

- ・戦後最多 73 人 (465 人中 15.7%) 前回 2021 年は 45 人 (△28 人) ・9.7% (△6.0%)
- ・内訳
自民 19 人、立憲 30 人、維新 4 人、公明 4 人、共産 3 人、国民 6 人、れいわ 4 人
参政 2 人、諸派 1 人

(福岡県の状況)

★投票率

- ・県全体 51.59% (前回 2021 年 52.12% ▼0.53%) 戦後 2 番目の低さ
- ・福岡 1 区 46.98% (前回 2021 年 47.56% ▼0.58%)
- ・福岡 2 区 52.47% (前回 2021 年 53.81% ▼1.34%) 立憲が選挙区当選
- ・福岡 3 区 53.45% (前回 2021 年 54.42% ▼0.97%)
- ・福岡 4 区 53.48% (前回 2021 年 53.97% ▼0.49%) 自民が分裂 (自民=裏金、無所属)
- ・福岡 5 区 55.54% (前回 2021 年 54.52% △1.02%) 共闘⇒共産が候補者を降ろした。
- ・福岡 6 区 50.94% (前回 2021 年 51.19% ▼0.25%)
- ・福岡 7 区 52.00% (前回 2021 年 52.53% ▼0.53%)
- ・福岡 8 区 51.13% (前回 2021 年 53.04% ▼1.91%)
- ・福岡 9 区 49.8% (前回 2021 年 50.95% ▼1.15%)
- ・福岡 10 区 47.835% (前回 2021 年 48.00% ▼0.17%) 自民が分裂 (自民、無所属)
- ・福岡 11 区 54.44% (前回 2021 年 54.28% △0.16%) 自民=裏金 (武田良太が落選)

★11 選挙区の状況

2012 年・2014 年・2017 年は自民が独占

2021 年：野党共闘が成立、自民候補 3 人が落選 (立憲 2 人・無所属 1 人当選)

2024年：共闘は部分成立、自民候補4人が落選（立憲2人・維新1人・無所属1人当選）

★政党別・比例区票の状況

- ・自民党 今回 532379 票（前回 2021 年 706799 票 ▼174420 票）
- ・公明党 今回 318003 票（前回 2021 年 371843 票 ▼53840 票）
- ・維新 今回 166686 票（前回 2021 年 237590 票 ▼70904 票）
- ・国民 今回 235169 票（前回 2021 年 93864 票 △141305 票）
- ・立憲 今回 414604 票（前回 2021 年 414722 票 ▼118 票）
- ・社民 今回 51788 票（前回 2021 年 53427 票 ▼1639 票）
- ・共産 今回 110535 票（前回 2021 年 139724 票 ▼29189 票）
- ・れいわ 今回 172347 票（前回 2021 年 92833 票 △79514 票）
- ・参政 今回 105086 票

比例復活は県内では4人：福岡2区（自民）、福岡4区（国民・維新）、福岡5区（立憲）

★女性当選者

選挙区11人（うち0人）・比例復活4人（うち1人）⇒15人中1人（6.7%）

【参考】

～市民連合ふくおかが、衆議院選に向けて取り組んできたこと～

（選挙前の宣伝）自民党政治批判+投票を促すもの

★各団体が定期的に街宣を実施

★ポスター100枚（表面は「?」、裏面は統計3種のもの）を配布・掲示

★宣伝チラシ5万枚を配布（内容はポスターと同じ）

（福岡2区）鬼退治チラシ3万枚を配布

（福岡4区）チラシ1万枚を配布

★横断幕「さらば裏金自民党+とうひょうくん」（2m×60cm）10枚を使用

★9/8街角トークで使ったプラカード（投票へ行こう「?」+とうひょうくん）100枚を参加者に持ち帰ってもらって使用

★9/8街角トーク（天神・警固公園で実施）

★緊急企画 投票に行こう街宣（天神・パルコ前）・練り歩き（渡辺通り）

（SNS発信）

★10/1再スタート 公式Xで毎日短い動画を順番に発信

★9/8街角トークでの「とうひょうくん」動画を発信

★facebook、インスタも使用

（それ以外）

★昨年秋以来、立憲野党との懇談会を継続実施（計10回）

★「『新しい戦前』を阻止し、立憲主義に基づく政策を実現するための覚書」について
10/7・10/8の市民連合（全国）が政党代表と個別にあって政策を確認

そのことをうけて、福岡県でも上記「覚書」を国政・地域の計6党と確認

10/9：立憲、共産、社民、緑、ふくおか市民政治ネットワーク

10/13：市民ネットワーク福岡

★記者会見を実施（10/14）

★10/15 公示後は、上記「覚書」を確認した政党の候補者が選挙区内1人の方（統一候補とみなす）に対して、推薦状を手渡しした（4区・5区・6区・8区・9区・11区）

★10/15の福岡11区・志岐玲子さん出発式で挨拶

★10/23の共産・田村智子委員長の小倉駅・博多駅での街頭演説で挨拶

★10/15 公示後、上記「覚書」を確認した政党に関して、寄せられた情報をMLで発信

★「フェミブリッジ衆院選」を女性4候補者に対して実施

10/18 福岡11区・志岐玲子さん

10/20 福岡5区・堤かなめさん

10/22 福岡4区・宗晶子さん

10/23 福岡8区・河野祥子さん